

ストリートパフォーマンスで若者が元気なまちをつくる

活動地域（三重県名張市）

男性のプロフィール

氏名：長岡 克明さん

年齢層：若年層（20～30 歳代）

活動概要：「ホットポイズン」という名の若者からなる組織を立ち上げ、BMX、スケボー、ダンス、バンドといったストリートパフォーマンスと言われる活動の練習や表現の場を作るとともに、若い世代に魅力ある地域にするためのイベントを企画・運営している。現在のメンバーは 10 名。

活動開始のきっかけ

「若者が楽しめないまち」を自分たちの手で変えたい

大阪のベッドタウンという特性を持つ名張は、若者にとっては、地元での就職先がない、娯楽施設や行きたい場所がないなど、魅力があるまちとは言えず、若者の地元離れが進んでいました。私は地元出身で、このまちに愛着もあったことから、「若者を中心として全世代が楽しめるものがあれば、少しでも多くの若者が名張に関心を持ち、住んで楽しいまちと実感できるのではないか」とずっと考えていました。

そのようなとき、ボランティア活動をしている一人の知人が、駅前で BMX（オフロードを走るための自転車）の練習をしている若者に声をかけ、「名張には BMX の練習場所やそれを披露するためのイベントがない」というつぶやきを聞いてきました。このつぶやきを、知人と私を含めた地元仲間 10 名程度で共有し、私自身もバンドをやっていたその練習場所がなかったこともあり、「名張に BMX などの公の練習の場を作ろうか」と話をしたのが活動の最初のきっかけです。

その後、約 1 カ月ほど話し合いを重ねて、若者世代の共感を得やすいスポーツの代表であるストリートパフォーマンスで若者を盛り上げることとし、それを実現するための活動組織として、平成 16 年 4 月、市民グループ「ホットポイズン」を地元仲間とともに立ち上げました。

まず、我々は、若い世代に人気のある「BMX」、「スケボー」、「ダンス」、「バンド」の活動の練習や表現の場所を作ることから着手しました。しかし、ストリート系の活動というのは、個人では得難い広い面積の活動場所や設備が必要となることや、一部の非常識な行動や無理解による偏見などによって、活動を進めにくいという問題があり、我々だけの力ではその実現が困難でした。そこで、我々の思いや問題意識を文書にまとめ、平成 17 年 9 月、市長に活動場所の提供を依頼する要望書を提出しました。その結果、名張市総合体育館駐車場の一部を開放してもらえることになったのです。そこを若者に開放するとともに、ホットポイズンとしてもスケボーなどの活動場所として利用するようになりました。

活動の内容

ストリート系総合イベントを企画・運営

若者の定住促進を目指して、ストリート系総合イベント「NABAR | ストリート・フェスタ」をホットポイズン主催で平成 17 年より開催し、過去 7 回の実績があります。

企画段階から中高生を交えて検討するなど、世代を超えたメンバーで取り組む工夫をしてきました。また、イベントには、ストリート系パフォーマンス以外に、若者に行政に関心を持ってもらうために「市長と高校生の公開座談会」を取り入れたこともあります。

◇NABAR | ストリート・フェスタの概要◇

- ・ストリート系パフォーマンス
- ・フリーマーケット、露店などの出店
- ・市長と高校生の公開座談会
- ・素人パフォーマンスコンテスト



出演依頼が増え、バンドやダンスが地域に受け入れられてきた

名張には、夏祭りや盆踊りなどの地域的な祭りがありますが、これまでは出し物といっても歌があるくらいで、盛り上げに欠けるということがありました。こうした祭りに、地元の方からホットポイズンに問合せがあり、「バンドやダンスを出展してもらえないか」といった依頼を受けるようになりました。

また、地域の祭りに実際に出演すると、地元の方々が我々の活動を知り、その後、様々な場面で声がかかるようになりました。

当初は、名張市総合体育館駐車場の一部が、ストリート系活動を行う我々の活動場所だったのですが、活動を展開していく中で、名張のまちの中に活動の場が広がってきていることを実感しています。

周囲との関わり

地域組織との連携が不可欠

商工会議所の青年部は、名張を盛り上げようと、ローカルヒーローや「名張牛汁」といったB級グルメに取り組むなど、我々の活動とも目的が共通する部分がありました。ホットポイズンのメンバーに青年部とつながりがある者がいたことから、資金面や人員面、人集めなどの面で青年部の協力を得ながら、これまで活動を進めてきました。

ホットポイズン単独での活動では、できることが限られたと思います。こうした地域の組織と連携するメリットはとても大きいと感じています。

このほか、地元企業から協賛金を得られ、活動資金に充てることができました。

直面した課題と解決方法

次の目標をどう設定するかという課題に直面

平成17年からホットポイズンの活動を実践してきて、当初の目的であった「若者を中心とした全世代が楽しめるイベントの開催」は、着実にクリアできつつあると感じています。しかし、そうしたとき、次の目標をどう設定するのかという問題に突き当たりました。このため、平成23年4月より、ホットポイズンは活動休止状態です。

ホットポイズンのメンバーの平均年齢も上がり、30歳となっています。立ち上げ当時のメンバーがこれまで主に活動を担ってきましたが、次の世代を育てるべく、人材育成に取り組んでいく必要性を感じるようになりました。ホットポイズンの次の課題は、人材育成、そして、若い世代をメンバーに加えての活動の再開であると思っています。

これからの展望

ゼロからのスタートで、さらなるステップアップを

我々の活動の結果、若者の定住が増えたといった劇的な効果が表れているとはいえませんが、イベントの回を重ねる中で、若者を含めた地域全体が、少しずつ盛り上がりを見せているように感じます。

今、ホットポイズンは活動休止状態ですが、この4月、名張から離れていた当団体の代表が戻ってくるため、メンバーで集まり、ホットポイズンの今後の活動目標をどう設定していくかを話し合う予定です。我々が主催してきた「NABAR I ストリート・フェスタ」も、今後、継続的に開催していきたいと考えています。

初心に立ち返り、ゼロからのスタートで、さらなるステップアップを遂げたいと思います。そして、今後も長く、名張のまちに若者が定住する手助けを、自分たちのオリジナルの方法で実践していきたいと思っています。